

## 次期「島根県がん対策推進計画」骨子（案）の概要

## ■全体目標

1. がんによる死亡者の減少    2. すべてのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上    3. がんになっても安心して暮らせる社会の構築

## ■重点的に取り組むべき施策

1. がん検診受診者数の増加をはじめとするがん予防の推進    2. がんの放射線療法、化学療法、手術療法に精通した医師等医療従事者の育成・確保  
3. がんと診断された時からの緩和ケアを提供する体制の確立    4. がん患者や家族等への支援

## ■分野別の施策及び目標

分野	施策の方向性	取り組むべき対策	目標となる指標
がん予防の推進	①たばこ対策の推進	・地域や職域関係者等との連携による、若い世代の喫煙率低下の促進 ・学校や市町村と連携による、未成年者の喫煙率ゼロに向けた取り組みの推進 ・街頭キャンペーンや出前講座等による県民への啓発	★喫煙率（※健康増進計画において指標及び目標数値を決定）  （※健康増進計画を踏まえて検討）
	②生活習慣の改善	・子どもの頃からの望ましい食習慣の確立 ・妊産婦、青年期の健康的な食習慣実践の推進 ・地域における食生活改善、働き盛りの運動習慣の推進	
	③感染に起因するがんへの対策	・肝炎に対する正しい知識、肝炎ウイルス検診の必要性について普及啓発 ・子宮頸がん予防のためのワクチン接種の重要性について普及啓発	★肝炎ウイルス検診受診者数（※肝炎協議会を踏まえて検討）
がんの早期発見	①がん検診受診者数の増加	・がん検診の普及啓発や受診体制の整備 ・女性の乳がん、子宮がんの受診者増加に向けた取り組みの強化 ・市町村による、要精密検査者への受診勧奨及び未受診者対策	★がん検診の受診者数及び受診率 ★40～69歳のがん検診受診率 ★市町村が実施するがん検診の精密検査受診率
	②がん検診体制の整備	・市町村、検診機関、検診啓発サポーター、検診啓発協力事業所などとの連携による取り組み	
	③効果的ながん検診の実施・精度管理	・がん検診精度管理委員会等における事業評価や研修会の実施 ・がんの死亡や罹患状況、検診受診率等のデータ収集及び分析	
がん医療の充実	①がんの診断・治療の連携体制	・国の動向を踏まえ、拠点病院等のあり方を検討 ・拠点病院等の機能や診療実績等について情報提供 ・医療連携の推進、専門医等の人材育成による、拠点病院等の役割強化 ・西部地域、中山間地域のがん医療提供体制の格差是正に向けた検討	★拠点病院等に対する状況調査の実施 ★拠点病院等の連携体制構築を検討するための検討会の実施
	②医療機関における医療提供機能の充実	・拠点病院等におけるチーム医療（がんサポーター）の体制整備 ・医療機関におけるインフォームド・コンセント、セカンドオピニオンの体制整備 ・地域連携クリティカルパスの推進による、病病・病診連携の体制整備 ・医療従事者や患者に対する、地域連携クリティカルパスの普及啓発	★セカンドオピニオンを実施する病院数 ★地域連携クリティカルパス活用患者数
	③手術療法、化学療法、放射線療法の推進及び専門医等医療従事者の育成	・2次医療圏単位での医療連携体制、役割分担の構築 ・がん医療に精通した医療従事者（医師、看護師、薬剤師等）の育成及び資格取得等の支援 ・不足する医療専門職（病理専門医、リハビリスタッフ、栄養士等）の育成及び資格取得等の支援	★がん医療に精通した医師、看護師、薬剤師放射線スタッフ、その他の専門スタッフの数
	④5大がん以外のがん・小児がんの対策	・5大がん以外のがんに関する診療情報等を県民に情報提供 ・血液がん対策の検討 ・小児がん拠点病院と県内の小児がん対応病院との連携体制の構築 ・小児がんの教育体制や自立支援、患者の家族への支援策の検討	
緩和ケアの推進	①緩和ケアに携わる医療従事者に対する研修会の実施	・緩和ケアに携わる医療従事者に対する研修の実施 ・緩和ケア研修会修了者に対するフォローアップ研修の実施 ・緩和ケアチームの編成等、医療機関における緩和ケア提供体制の整備	★緩和ケアの基本的技術を習得した医師数 ★緩和ケアに精通した看護師数 ★がん性疼痛ケアに精通した看護師数
	②2次医療圏における在宅を含めた緩和ケア体制の整備・検討	・2次医療圏における在宅緩和ケア提供体制の検討 ・2次医療圏ごとの取り組みを踏まえ、県全体における総合的な緩和ケアのあり方を検討	★緩和ケアの提供体制に関する検討
	③緩和ケアの普及啓発	・緩和ケアについて、正しい理解を県民に普及啓発するための講演会等の実施	
患者・家族等への支援	①がん相談支援体制の充実	・がん相談支援センターの認知度向上対策の強化及び相談支援体制の充実 ・がん情報提供促進病院における相談機能の向上を推進 ・がんピアサポーターの養成推進及びピアサポート活動体制の検討・整備	★がん相談支援センターの認知度
	②がん患者団体等への支援	・県ホームページによる情報提供の充実 ・医療機関による患者団体等についての情報発信の充実 ・患者及び家族等と県及び拠点病院との意見交換会の実施	★患者家族等と県及び拠点病院との意見交換会の開催
	③がん患者の就労を含めた社会的な問題への対応	・就労に関する状況やニーズ、課題等を明らかにし、その対策について検討 ・就労や経済的な問題に関する相談支援体制の検討 ・職場における理解促進のため、事業所等への周知や働きかけについて検討・実施 ・患者の経済的負担の軽減について、実現可能な支援方法を検討	
がん登録・活用	①がん登録の推進	・院内がん登録の実施医療機関の促進 ・地域がん登録の参加医療機関の促進	★院内がん登録の実施医療機関数 ★地域がん登録の実施医療機関数
	②がん登録の活用	・地域がん登録について、県民や医療関係者へ周知 ・がん登録データの分析体制の検討・構築	★地域がん登録の実施診療所数
がんに関する普及啓発・情報提供の促進	①がんに関する普及啓発の推進	・がん検診やがんに関する知識などの普及啓発活動の推進 ・がん患者、企業、関係団体など幅広い関係者との連携による啓発活動の推進	
	②がんに関する情報提供の推進	・県ホームページによる情報提供の充実 ・ホームページ以外の有効な情報提供手段の検討 ・医療機関からの情報提供の促進 ・医療機関の治療内容等、患者が必要とする情報提供の検討 ・がん関連図書等の整備等、患者・家族の学習環境の整備	★県ホームページ「しまねのがん対策」へのアクセス数
がんに関する研究の推進	①子どもに対するがん教育	・がんに対する正しい知識を身につけ、自らの健康を適切に管理するための教育の推進	★保健学習以外でがん予防の取り組みを行う学校数（小・中・高校）
	②大学におけるがん医療従事者の育成・研究の推進	・島根大学「がん教育センター」における、がん専門医等医療従事者の育成 ・島根大学における臨床研究等の実施体制構築の検討	